

京都市帝國大學法學科大學

# 經濟論叢

第一卷 第一號

## 論說

●貧富問題(一)

法學博士 田島錦治

●でがゐるつごひゆゑの經濟學說(二)

法學博士 福田德三

●地代ノ性質ニ就テ

法學博士 戸田海市

●地方財政ノ調整

法學博士 神戸正雄

## 雜錄

●減債基金ト鐵道資金

法學博士 小川郷太郎

●獨逸ノ自治制ニ就テ

教授 財部靜治

●戰爭ト社會問題

講師 米田庄太郎

●津村博士ノ國民經濟學原論ニ就テ

法學博士 河上肇

## 雜報

●租稅ノ新傾向

法學博士 神戸正雄

●佛國ノ外國放資

法學博士 小川郷太郎

●佛國植民地ノ現勢

助教 山本美越乃

●著名ノ婦人ニ關スル統計的研究

法學博士 河上肇

●麥ノ收穫ト米價

講師 高田保馬

●最近人口靜態統計

法學士 大山壽

●日本經濟叢書第十二卷ヲ讀ム

法學士 本庄柴治郎

●和田垣教授在職二十五年祝賀

法學博士 神戸正雄

●Robert Meyer 逝ク

法學博士 小川郷太郎

●びねーるゝるわぼーりゆー氏ノ陳亡

法學博士 織田萬

Robert Meyer 述ニ

法學博士 小川郷太郎

歐洲戰爭勃發當時ニ於テ、奧國ハ二名ノ碩儒ヲ失ヘリ、其一ハ Böhm-Bawerk ニシテ、其一ハ、Robert Meyer ナリ、Böhm-Bawerk ノ逝去ハ余輩米國ノ J. B. Clark ノ書信ニヨリテ之ヲ知り京都法學會雜誌(第九號第十二號)ニ於テ之カ哀悼ノ意ヲ表セリ、Robert Meyer ノ遠逝ハ最近ニ至リ Journal des Economistes 15 Juillet 1914(戰爭ノ爲ニ延着)并ニ Finanzarchiv 32 Jg. Bd Iヲ手ニスルニ及テ之ヲ知レリ、Böhm-Bawerk ガ奧學派ノ巨擘タリシカ如ク、Robert Meyer モ亦奧學派ノ泰斗ナリキ Böhm-Bawerk カ政治家トシテ行政家トシテ赫々ノ名ヲ馳センカ如ク、Robert Meyer モ政治家行政家トシテ歴史ヲ飾ル人タリ

キ、墺國直接税ノ改革殊ニ所得税立法ノ如キ、全ク Böhm-Bawerk Robert Meyer 一人者ノ手ニ成レルモノモアルナリ、故ニ Böhm-Bawerk ヲ傳スレハ又 Robert Meyer ヲモ傳セサルベカラズ。

Robert Meyer ハ一八五五年一月八日維、也納ニ生レ、長シテ維也納大學ニ入り法律經濟ノ學ヲ修メ、業ヲ卒テ後、去テ伯林ニ赴キ、伯林大學ニ於テ Wagner 并ニ Schmoller ノ演習ニ參加シテ更ニ研究スル所アリ歸來「ドクトル」試問ニ應シテ及第シ「ドクトル」ノ學位ヲ得タリ時ニ一八七七年六月ナリキ、氏ハ先ツ地方ノ稅務官トナリシガ、其官務ノ傍、財政學ノ研究ニ耽リ、拮据七八年、終ニ一八八四年ニ至リ、一代ノ名著 Die Prinzipien der gerechten Besteuerung in der neueren Finanzwissenschaft ヲ公ニシ、同年召サレテ、大藏省本省ニ入レリ、氏ガ學界ニ認メラレ又行政部内ニ飛躍スル實ニ此時ニ初マル、氏ハ先ツ此著ニヨリテ一八八七年維也納大學ニ於テ財政學私講師 (Privatdozent) トナリ、同年又 Das Wesen des Einkommens ナル書ヲ著ハシ、大ニ、經濟學

界ノ注目ヲ惹キ一八九一年三月十九日ニハ終ニ員外教授 (ausserordentlicher Professor) ニ進メリ此ノ如ク氏ハ一方ニ學界ノ偉人トナリツツアル間ニ他方ニ行政部内ニ於テ大ニ活躍シ、Böhm-Bawerk ノ下ニ而モ Böhm-Bawerk ト共ニ諸種ノ直接説ヲ改革シ所得税ヲ立ツルコトヲ畫策シ Böhm-Bawerk 去リタル後モ氏ハ立テ止マリテ終ニ之ヲ實行セリ此クシテ近世墺國財政史上ノ一大事業タル一八九六年ノ租稅改革成レリ Robert Meyer ハ租稅原則ニ關スル白論ヲ實地ニ施シタルナリ、以テ氏ガ學者タリ實際家タル本領ヲ見ルベシ、後一八九九年ニハ直稅局長トナリ專ラ稅務行政ノ衝ニ當リ一九〇一年ニハ維納大學ノ Honorarprofessor トナリ官務ノ傍、學ヲ講シテ倦ム所ナカリキ一九一〇年統計局長ニ轉シ國勢調査 (Volkzählung) ノ事務ヲ督シタリシカ一九一一年一月九日大藏大臣ニ榮轉シ、國家ノ財政并ニ地方財政ノ整理ヲ爲サントシ所得稅相續稅ノ變更増率并ニ間接稅ノ釐革ヲ企テシカ議會ノ反抗ニ遇フテ之ヲ遂クルコトヲ得以僅ニ家

屋税ノ改正ヲ行ヘルノミニテ一九一一年十一月十九日桂冠スルノ已ムナキニ至レリ其後間モナク統計局長 Mischler ノ逝去スルニ會シ氏ハ再起テ統計局長ノ椅子ニ就キ統計事務ニ執掌シ以テ死スルノ日ニ及ヘリ。

Robert Meyer ハ此ノ如ク半面ハ政治家、行政家ニシテ半面ハ學者ナリキ、故ニ氏ハ又常ニ維納大學教授トシテ知ラレキ、維納大學ニ於テハ其初メハ貨幣銀行論ヲ講シタルコトアリシカ、後租稅改革ノ行ハルルヤ、租稅改革論ト云フ新講義ヲ開キ當時ノ學生ヲシテ爭テ其講筵ニ走ラシメタリ、又時ニハ經濟學史ヲ講シタルコトモアリキ、然レトモ氏カ維納大學ニ於テ學生ヲ指導スルニ於テ最モ力ヲ盡セシハ演習ナリキ、始メニ於テハ財政學演習ヲ指導セシカ、後年ニ於テハ統計學ノ演習ヲ指導セリ

氏ハ學者トシテモ多方面ナリシト雖モ其學生ノ力ヲ注キシハ財政學ニアリシコト爭フベカラズ、氏ノ本領ハ財政學者タルニアリト云フモ過言ニアラス而シテ氏ヲシテ財政學者タルノ名ヲ

博セシメタルハ實ニ前ニ述ハタル Die Prinzipien der gerechten Besteuerung in der neueren Finanzwissenschaft ノ書ナリ此書ハ實ニ氏ヲシテ財政學史上ニ不朽ノ名ヲ垂レシメタルモノナリトス  
財政學ニ於テ中心トモ云フヘキモノハ租稅論ナリ租稅論中最モ八ケ間敷シキモノハ課稅ノ原則ナリ課稅ノ原則中又最モ難シトスル所ノモノハ正義ノ原則ナリ、氏ハ此最モ難シトスル問題ヲトリテ之ヲ解決セント試ミタリ、氏ハ先ツ此書ニ於テ此問題ニ關スル學說ノ發展ヲ叙シテ之ヲ批評シ從來ノ學說カ比例稅ニテ甘ンスルヲ斥ケテ進テ累進稅說ヲ立テリ、氏ハ Karl Mengger ノ高弟ナリ Karl Mengger ノ研究方法ヲ以テ租稅ノ正義ヲ研究シ Karl Mengger ノ限界效用說ヲ借り來リテ累進稅論ヲ築キ上ケタルナリ、蓋シ氏ハ社會主義者ノ如ク富者退治ノ目的ヲ以テスル累進稅ヲ課セントスルモノニアラスシテ經濟理論ヨリシテ累進稅ヲ課セントスルモノ也

氏ハ又課稅ノ正義ト云フハ課稅ノ普遍的ナルコト、課稅ノ不平等ナルコトニ外ナラストシ課稅

ノ普遍ナルコト課税ノ平等ナルコトハ應分擔税  
ナラサルベカラサルコト犠牲ヲ均等ニセサルベ  
カラザルコトニ歸スコトヲ切論シ從テ租税制度  
ハ種種ノ租税ヲ打シテ一丸トセサルベカラサル  
コトヲ説キ税制ノ上ニテ收益税ト消費税トノ相  
結フハ應分擔税ノ原則ノ上ヨリ從テ正義ノ原則  
ノ上ヨリ必要ナリト斷セリ

氏ノ此説カ如何ニ今日ノ財政學上ニ影響ヲ及  
ホセルカハ少シク財政學ヲ知ルモノノ直ニ了解  
シ得ル所タルベシ、余ハ是等ノ論ヲ茲ニ詳ニ説  
カントスルモノニアラス只氏カ財政學上如何ニ  
貢獻セルカノ一端ヲ説カントスルノミ

氏ノ第二ノ著書所得ノ本質論(Das Wesen des  
Einkommens)ハ財政學上ノ論ト云ハンヨリモ經  
濟學上ノ論ト云フベキカ如シト雖モ、今日ノ財  
政學カ所得ヲ以テ税源トスル以上ハ所得論ハ租  
税論ノ出發點ト見ルコトヲ得ベカラザルニアラ  
ズ、氏ハ此書ニ於テ所得ノ觀念ト消費トノ關係  
ヲ明ニシ所得ノ形式、所得成立條件、所得ノ分配  
ノ生産上ニ及ホス意義ヲ論セリ氏ハ尙 Hand-

wörterbuch der Staatswissenschaften 中ノ「所得」  
ノ項ニモ筆ヲ執レリ

氏ハ次ニ Das Zeitverhältnis zwischen der  
Steuer und dem Einkommen und seinen Teilen  
(Wien 1901)

ヲ著ハン所得ト租税ノ關係ヲ研究セリ

要スルニ氏ハ主トシテ租税論ヲ研究シ之ニ關  
連シテ所得論ヲ研究シタルモノニシテ氏ノ本領  
ハ財政學者タルニ在リト云フヲ得ベク財政學カ  
氏ニ負フ所少カラザルナリ

氏ハ右述フルカ如ク財政學者タルト同時ニ又  
統計學者タリ、氏ハ大藏省ニ職ヲ奉スルコト二  
十六年ナリシカ其間財政統計ヲ究メ最モ力ヲ所  
得税統計ニ致シ、之ニ關スル研究ノ發表モ少カ  
ラス氏ハ統計局長ニ轉シテモ尙此種ノ研究ヲ繼  
續セシカ如シ令氏ガ統計ニ關シ發表シタル研究  
ノ主ナルモノハ左ノ如シ

- (1) Die ersten Ergebnisse der Personaleinkommen-  
steuer in Österreich (Zeitschrift für Volkswirtschaft,  
Sozialpolitik, und Verwaltung Bd VIII, 1899) —
- (2) Statistik des Einkommens und der Einkommens-

verteilung (Handwörterbuch der Staatswissenschaften)

(3) Ein Versuch auf dem Gebiete der Statistik der Einkommensteuer (allgem. Statistich. Archiv 1914 Bd VIII)

(4) Beiträge zur Geschichte der Statistik in Österreich 1913

Robert Meyer ハ余ニトリテハ路傍ノ人ニアラズ、余カ奥都ニ在ルトキ、余ハ氏ト會シ、氏ヨリ益ヲ受ケタルコト少カラサリキ、今其訃ヲ聞キ其昔ヲ想フ氏ノ風采歴歷トシテ眼中ニ泛ッラ覺ユ、痛恨窮リナシ。